case 1

手づくり石鹸工房「種々と木々」

自然いっぱいの十和田市に石鹸工房があります。

合同会社　ゆきの木
代表社員　岩城　利英子さん

企業データ

■合同会社ゆきの木　■代表社員　岩城　利英子
■創　業　平成28年6月
■利用した支援機関
（公財）21あおもり産業総合支援センター
（地独）青森県産業技術センター
青森県信用保証協会
■住　所　十和田市大字洞内字井戸頭 144-800
■TEL.　0176-58-0528
■ホームページ　https://shushu-and-kigi.com/
種々と木々　rieko_iwak

「洗う」ことの大切さ、手づくりする喜びと楽しさをお伝えしたい

SHUSHU AND KIGI

不思議な形をした「雪の泡せっけん」
青森県の素材にこだわって作っています。

創業の動機や経緯について

私はこれまで、東京、十和田、福岡での美容室に勤務した後、福岡の化粧品会社に勤めていました。化粧品会社に勤める前にアトピーを発症して、その化粧品会社のシンプルケアで克服できたと思っています。

その後父が亡くなり、一人暮らしになる母と暮らすため青森に帰るかどうか悩みました。新たに就職するのは難しいだろうと思い、自身のアトピー克服の経験から、「シンプルケアができる化粧品を作り提供できる存在になりたい」と化粧品会社を起業することを決意しました。

43歳の学生

化粧品製造販売業の許可を取得するには、薬学または化学の専門課程を修了していることが必要です。そのために北海道の専門学校に43歳で入学し、奨学金をいただきながら3年間学びました。

専門学校では、授業が終わってからも寝るまで勉強しました。リケジョじゃないのに化学系のことを勉強するのでとてもきつかった！でもお金も時間も人生もかけているので必死でした。

まわりはみんな10代、20代の若い子たちです。体力も記憶力もかないません。「やるかやらないか」が分かれ目ですね。努力すれば私でもちゃんと結果が出たんです。その確信が持てたことが開業にも繋がりました。

※洗顔石鹸の製造販売には化粧品製造販売業の許可が必要です。

事業計画書を作ってみた

資格を取得後、化粧品製造販売業の許可申請のために法人を立ち上げました。商談するときに、個人と法人では信用が違うと思ったからです。ですから、個人でも許可は取得できますが、私は法人で取得することにしました。それからは、調べ物とか超オタク生活をしていました（笑）。

オタク生活中に、金融機関が信用保証協会の創業セミナーのチラシを持ってきてくれました。自分でも本を見ながら事業計画書は作ったんですが、吹けば飛ぶような代物でした（笑）。なるべく借金しないでやりたいと考えていたんですけども、全３回のセミナーを聞くうちに、「これはお金を借りなければやっていけない」と気づき、セミナー後の個別相談会に申し込みをしました。

その後信用保証協会を通じて、弘前地域研究所（現弘前工業研究所）や、ＩＭを紹介してもらって、計画書をどんどんブラッシュアップしていきました。おかげで無事融資を受けることができて、そういうところはプロに協力してもらえてよかったですね。

許可取得や融資のタイミングが難しかったのですが、そこは信用保証協会が調整してくれました。私の帰省が１年早かったら、創業セミナーはまだやってなかったそうなので、ご縁があったと思います。

こだわりゆえに苦労したこと

石鹸工房を建築する時に、新たに建物を建設すると投資額が大きくなるから、OEMにしてはどうか？と言われました。悩みましたが、私の作る石鹸は配合が複雑なため、OEMでは自分の作りたいものができないんです。また最初は小ロットでの生産を考えていましたので、自社生産が適しており、計画通り工房を建築しました。

青森県内の化粧品製造販売業は私を含めて４社と、前例が少ないのです。県との調整や事業計画書を立てる上でも、参考にするものが少なかったので、全て手探りで時間もかかりました。自分がやりたいことのためには行動しつづける性格ですので、周りの人の手を借りながら、起業決意から７年目にして許可を取得することができました。

これから創業される方へアドバイス

ぜひ、信用保証協会の門をたたいてください。自分ひとりだと、どう進んでいったらいいかわからなくなります。私の場合は信用保証協会が道しるべを作ってくれました。

不安だなあと思ったら、まず創業セミナーに参加したり、気軽に相談してみるのがいいと思います。

開業してから一番の悩みは「不安」でしょうか。金銭的な不安、商品化についての不安、経営を勉強していない故の悩み…。それがいろんな方と出会うことによって一つずつクリアになりました。人との出会いに偶然はないな、必然だなと思ってます。

あらゆる方々に今助けられているので、みなさんの支えや人とのつながりがないと無理、というのを実感しています。

原料のオイルだけでなく水にもこだわりがあります。

最初に石鹸素地を作り、保湿成分等を加えていきます。

ひとつひとつ、型入れします。

しばし、乾燥中…

雪の泡せっけんの完成です！

支援機関からメッセージ

■青森県産業技術センター　弘前工業研究所　平山研究管理員より

石鹸処方開発の共同研究をしております。岩城さんはアクティブかつ研究熱心で、周囲に人が自然に集まるような信頼のおける方です。その新しいアイデアや大きな夢をいつも応援しています。売れてゆく化粧品開発を今後とも一緒に行ってゆきましょう。

■信用保証協会　担当者　中村より

先を見据えて行動する力、それが岩城さんのすごいところです。当協会がご紹介した大阪ビジネスフェアをはじめとする各展示会にも積極的に参加なさっています。行動しないと未来は変わらないですよね。今後の商品開発にも期待しています！